

事務事業名	キャリア教育推進事業		会計	一般会計					
課等名	生涯学習・スポーツ課	係等名	地育力向上係	事業種別	政策	開始	19	終了	
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり	施策	22	義務教育の充実			

目的	対象(誰・何を)	市内中学校、飯田市下伊那郡内事業所		対象指標	指標名及び単位		24年度数値
	意図(どういう状態にするか)	職場体験学習の平均日数を増やす 職場体験学習を受け入れる事業所を増やす			中学校数	9	
	向上させたい上位施策の成果指標	キャリア教育、体験活動により、自分の生活を見直すことのできた生徒の割合:%			職場体験学習を受け入れる事業所数	287	

目標	種別	指標名及び単位		24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	中学校職場体験学習実施日数(平均・日)		3.6	3.6	3.6	3.6	
	成果指標	職場体験学習受入れ事業所数(受入れ意思がある事業所・事業所)		300	287	300	310	
	定性目標							

**事業概要**

- ・飯田のキャリア教育は、子どもたちが働く意味を知り勤労意欲を持つこと、夢を抱きそれを実現しようとする意欲を持つこと、さらには、ふるさとに生かされている自分に気づき地域社会に貢献しようとする意欲を持つことを目的に、キャリア教育推進協議会、キャリア教育研究委員会を組織して推進している。
- ・中学校での職場体験学習を、地域内の事業所の協力を得て実施することを中核的な取組みとして推進してきた。
- ・現在は、職場体験学習を引き続き中核活動に据えつつも、各教科、総合的な学習の時間、特別活動の時間、児童・生徒会活動等の全ての教育活動の中にあるキャリア教育の断片をつなぎ合わせて横断的、系統的な取組みへと発展させることを目指している。
- ・小中連携・一貫教育の中にもキャリア教育の推進を位置づけ、9年間を通じた中学校区単位でのキャリア教育を推進する。

事業内容		名称		活動指標	
24年度事業内容	1 市内9中学校の職場体験学習のための体験受け入れ職場の確保	1 事業所等の数	1	287事業所	
	2 職場体験学習の事前学習としてのガイダンスへの講師派遣	2 講師派遣回数	2	12回	
	3 キャリア教育推進協議会等による方針決定、調査研究の実施	3	3		
	(1) 推進協議会、研究委員会の開催	(1) 会議開催	(1)	8回	
	(2) キャリア教育推進フォーラムの開催	(2) 開催数	(2)	1回	
4 小中一貫したキャリア教育の実施	4	4			
(1) 研究指定校(丸山小・西中)による実践と検証、他校への普及と研究	(1) 研究指定校	(1)	小中各1校		
(2) キャリア教育小中連携協議会・小委員会の開催	(2) 会議開催	(2)	4回		
5 各中学校代表の体験講座等	5 受講人数・開催回数	5	12人・5回		
	「結いジュニアリーダー育成講座」の実施(各校1~2名)				

事業コスト	23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①	1,096	955	800	978	
国庫支出金					
県支出金	511				
起債					
その他					
一般財源	585	955	800	978	
人件費計(千円)②	5,902		5,902		
正規職員所要時間	1,500		1,500		
臨時職員所要時間	500		500		
総事業費①+②	6,998	955	6,702	978	

**事業内容・目標達成状況の振り返り**

職場体験学習受入先事業所については、新規事業所への依頼を行った。昨年度よりは受入可能事業所は多かったが、成果目標には至らなかった。  
小中連携・一貫教育の実施要綱にキャリア教育の必要性を位置づけた。

改革改善の考え方	①問題点	下伊那郡内の中学校や高等学校と職場体験学習が重複する状況がみられる。研究指定校による小中一貫したキャリア教育の実践を踏まえた他校への普及について研究していく。
	②改革提案	受入事業所の確保に向けて、飯田商工会議所等と連携してキャリア教育の取組みを説明し受入を依頼していく。飯田市小中連携・一貫教育が全校開始されるのに合わせて、希望する中学校区を支援していく。